

古代都市文明の成立過程を探るーキュルテペ遺跡からの新視点

紺谷 亮一

Ryoichi Kontani

文学部／現代社会学科

教授／Ph.D.／文学博士



研究業績データベース

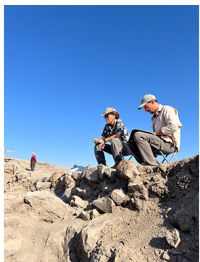
YouTube公式動画

キーワード

考古学／トルコ共和国／キュルテペ遺跡／発掘調査／古代都市文明／交易ネットワーク／銅石器時代

研究概要・実践活動

考古学を専門とし、約5300年前の古代都市文明の成立過程を解明するため、トルコ共和国キュルテペ遺跡の発掘調査を2015年から継続しています。メソポタミアのような農耕に依存しない都市形成の仕組みを探るため、深層部の掘削を進め、近年はプランの建物遺構の出土を契機に新たな都市成立モデルを提案しています。これらの研究は、現代社会の都市構造やネットワークの理解にもつながると考えています。



研究・社会活動実績

トルコ共和国キュルテペ遺跡で約5300年前の都市文明の成立過程を解明する発掘調査を継続。巨大円形建造物の発見を契機に新たな都市モデルを提案しています。

産学官連携の可能性

古代都市文明研究を通じ、文化資源の活用や観光・教育コンテンツ開発に貢献できます。発掘調査で得られる知見は、都市計画やネットワーク構築のモデルにも応用可能。自治体・マスコミ等の企業と協働し、歴史を活かした地域振興や国際交流を推進します。

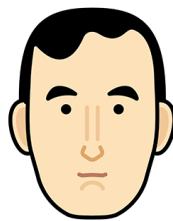
清朝の八旗と宮廷

鈴木 真

Makoto Suzuki

文学部／現代社会学科

教授／博士（文学）



研究業績データベース YouTube公式動画

キーワード

歴史学／東洋史／中国史／清朝史／満洲人／八旗／宮廷社会史・政治史／皇帝・后妃・皇子・皇女／官僚・科挙

研究概要・実践活動

清朝（大清帝国、1636～1912）の歴史、および清朝を建てた満洲人（マンジュ人）、清朝独自の軍事・社会制度である「八旗」が研究対象です。具体的には、清朝の皇宮である紫禁城を舞台とした、皇帝・后妃や皇子・皇女、大臣・将軍らが織り成す宮廷社会史・政治史をテーマとしています。

また上記の専門テーマとの関係上、中国史上における皇帝支配、その理論的支柱となった儒教（儒家思想）、皇帝を実務で支えた官僚候補生の選抜・登用制度（科挙）などについても研究しています。



研究・社会活動実績

とくに表立っては研究活動も社会活動もしていませんが、ごく稀にお声がかかった市民講座や講演では個人的な研究テーマに基づき、「清朝の歴史」・「科挙の歴史」・「清朝の八旗」などについてお話ししました。

産学官連携の可能性

高等学校等の授業で、漢文や満文などの文字史料や絵画資料を用いて中国の歴史や文化をテーマとしてお話することが可能かもしれません。高校の授業の一環として、「辮髪（べんぱつ）と纏足（てんそく）」、「宮廷料理といわゆる“満漢全席”」という内容でお話したことはあります。

ヨーロッパ中世はどんな時代か？

轟木 広太郎

Kotaro Todoroki

文学部／現代社会学科

教授／博士（文学）



研究業績データベース

YouTube公式動画

キーワード

騎士／修道士／聖人／カペー朝／奇跡／罪と罰／あの世

研究概要・実践活動

中世のヨーロッパ（とくにフランス）を研究しています。だいたい11～14世紀あたりがメインですが、国家というものがまだカッチリと出来上がっていなかった時代です。近代ヨーロッパが連想させる合理性というイメージからはかけ離れた時代ですが、騎士や修道士、王侯や農民・都市民たちによって構成されるこの社会は独自の興味深い仕組みと理屈を持っていました。以前は、奇蹟信仰や紛争・紛争解決のルールなどを研究していましたが、最近は魂をどう統治するか、王国をどう統治するか、という点について、同時の人々が何を考え、どう行動したかを調べています。



フランス西部アンジェに残された中世の城壁

研究・社会活動実績

以下、著書の紹介です。①『戦うことと裁くこと—中世フランスの紛争・権力・真理—』（昭和堂、2011年）。②「魔女裁判って中世ですよ？—例話集にみる魔術と悪魔—」 図師宣忠他編『史料と旅する中世ヨーロッパ』（ミネルヴァ書房、2025）。

産学官連携の可能性

中世ヨーロッパに取材した創作活動について何か助言などできるかもしれません。

つながりとネットワークの社会意識

中山 ちなみ

Chinami Nakayama

文学部／現代社会学科

准教授／修士（文学）



研究業績データベース

YouTube公式動画

キーワード

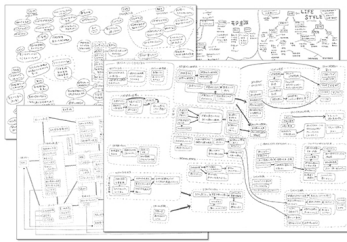
社会意識論／生活構造論／社会参加／ネットワーク／計量調査

研究概要・実践活動

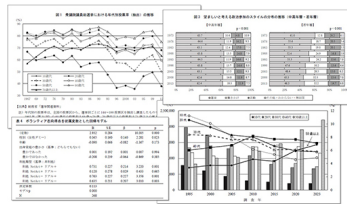
社会参加の促進・阻害要因を計量的に分析することが現在の研究課題です。社会参加とは「自分もその社会の一員である」という意識をもって、社会に対して何らかの働きかけをすることです。みんなが望ましい社会をつくっていくために社会参加は不可欠です。また、参加によって自分の居場所をつくることは「かけがえのない自分」であるためにも大切なことです。しかし参加とは面倒なものでもあります。できれば関わりたくない、参加を強制されたくない、というのが本音ではないでしょうか。情報ツール等の現代ならではの強みも有効に活用しながら、いまの社会に応じた方法で、人びとが自発的に参加できる社会のありかたを模索したいと思っています。



KJ法で問題を整理



概念の整理（マッピング）



分析結果を図表で表現

研究・社会活動実績

量的データを用いた計量分析（アンケート調査）を主な研究方法としています。それに関連して、岡山市「男女共同参画に関する市民意識・実態調査」、「岡山県及び県内27市町村における市民の社会参加状況調査」等の自治体が実施する市民意識調査に委員や助言者の立場で参加し、調査票の作成や分析等を担当しました。

産学官連携の可能性

社会調査士資格の取得要件となる社会調査の授業を担当しています。研究課題の設定、既存情報の収集と仮説の設定、調査の実施、データの分析・解釈と一連の作業を経て、調査結果を報告書にまとめていくのが実証研究のプロセスです。例えば高等学校等で取り組む「総合的な探究の時間」の課題研究で実証的な分析をしようとする方と、データの集め方や分析方法、結果のまとめ方など、研究の相談や助言をすることができると思います。

持続可能な社会に向けた外国人との協働

二階堂 裕子

Yuko Nikaido

文学部／現代社会学科

教授／博士（文学）



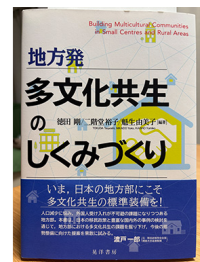
研究業績データベース YouTube公式動画

キーワード

国際労働移動／外国人労働者／外国人住民／送り出し社会／ベトナム／フィリピン／インドネシア／人口激減社会／持続可能性

研究概要・実践活動

国内の著しい人口減少と慢性的な労働力不足、およびグローバル化の進展を背景として、外国人労働者の送り出し社会と日本の受け入れ社会が共存共栄しうるための条件を探究しています。そのため、特に、技能実習生の主要送り出し国であるベトナム、フィリピン、インドネシアにおいて、社会動向や海外就労をめぐる現状と課題について調査しています。また、日本では、外国人の受け入れが進む農業や漁業の分野に焦点を当て、就労と生活の場である過疎地域で外国人がどのように働き、暮らしているのか、職場や地域社会の人々などどのような関係を構築しているのかについて調査しながら、外国人と日本人の協働の可能性を考察しています。



研究・社会活動実績

科研費（国際共同研究強化(B)および基盤研究(B)）の助成を土台とした学際的な共同研究チームの代表者として、国内外における調査とその成果の報告に力を入れています。また、学術貢献活動として、地域社会学会と関西社会学会の理事や社会調査協会の資格認定委員などを務めています。さらに、岡山県文化振興審議会委員や岡山県外国人材等支援推進協議会委員などとして、社会活動にも携わっています。

産学官連携の可能性

今日の国際労働移動をめぐる現状、および外国人労働者の送り出し社会と受け入れ社会における課題などについて、調査研究から得た知見を提供します。

近現代日本の政治と社会

久野 洋

Yo Hisano

文学部／現代社会学科

准教授／博士（文学）



研究業績データベース

YouTube公式動画

キーワード

近現代日本政治史／地域政治史／地域社会史／中央・地方関係／犬養毅／地域史料

研究概要・実践活動

①岡山県を代表する政党政治家である犬養毅について研究をしています。犬養自身の政治的な活動や思想だけでなく、岡山県内の支援者や世論の動向にまで考察対象をひろげ、犬養毅とはいったいどんな政治家であったのか、いろいろな角度から追究しています。②明治時代以降に岡山地域がどのように変化し、現在に至っているのか、地域に残されたさまざまな史料をもとに考えています。とくに、鉄道・港湾・水道といったインフラ整備、自然災害の発生、戦争への民衆動員など、近代岡山地域に大きな影響を及ぼしたターニングポイントに注目しています。



岡山後楽園でのフィールドワーク



歴史資料の調査の様子



第51回岡山市文化奨励賞表彰式



旧野崎家住宅（倉敷市児島、ナйкаイ塩業株式会社）での調査



高梁市日本遺産に関する合同調査

研究・社会活動実績

①『近代日本政治と犬養毅』と題する単著を出版しました。本書では犬養毅に関する膨大な関連史料を調査・分析することにより、従来の犬養イメージを刷新し、野党政治家としての活動を描き出しました。②岡山県内外において地域史料の調査を、行政や企業とも連携して進めています。地域の歴史資料の調査や保存に積極的に取り組んでいます。③以上の成果により、第51回岡山市文化奨励賞（学術部門）を受けました。

産学官連携の可能性

大学での研究・教育活動を通して、将来における地域歴史文化の保全の担い手の育成に尽力する一方で、市民に向けた講座等によって、広く研究成果を発表しています。また、公的機関と連携して、地域の歴史資料の調査や保存に積極的に取り組み、近代岡山の政治史のみならず、災害史等、広く地域史の研究も手掛けています。こうした経験から、地域課題や地域歴史文化に関する連携事業に歴史学者として貢献しようと考えます。

多様な世代で構成される住宅団地の要因分析

森 泰三

Taizo Mori

文学部／現代社会学科

教授／博士（環境理工学）



研究業績データベース



YouTube公式動画

キーワード

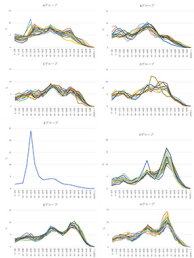
都市地理学／人口高齢化／人口移動／GIS／地理教育／住宅団地／用水路転落防止

研究概要・実践活動

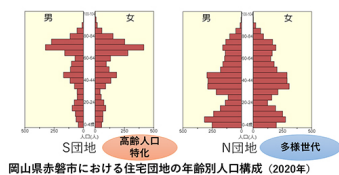
「場所」（空間、地域）について「なぜ」ということにこだわりがあります。人文地理学の視点から現代社会に関する調査・研究をしています。具体的には、全国の多くの高経年大規模団地において、急激な人口高齢化に対して、全国の多くの住宅団地が団地再生の課題に直面しています。ただ、住宅団地の中には形成・成長・成熟の段階を経て多様な世代で構成された循環型の人口構成を示しているものもあります。そのような「多様世代型」住宅団地の規定要因を分析し、まちづくりについて考察しています。



用水路転落防止に関する調査



全国の住宅団地における年齢別人口構成の分類



人口高齢化の特化した住宅団地と多様世代で構成された住宅団地



用水路転落防止リーフレット



岡山市の転落地点

研究・社会活動実績

人文地理学教室では、岡山市の用水路転落について、地理情報システム（GIS）を活用した実態調査に取り組みました。用水路転落に関するビックデータから、1.症状の重さ別地図、2.世代別の地図、3.時間帯別の地図を作成し、身近な地域の転落地点を可視化しました。その調査結果をまとめ、ソフト的な対策として「岡山市における用水路転落防止リーフレット」を作成し、岡山市内のすべての公民館に配布しました。

産学官連携の可能性

用水路転落事故の実態と防止に向けたリーフレット作成と岡山市内の公民館への配布については岡山市の「学生イノベーションチャレンジ推進事業補助金」を活用させていただきました。さらに企業との共同研究として、GISデータを活用した用水路転落事故防止実証実験事業を行いました。また、年間15回程度、高校を訪問して生徒の課題研究や先生方の授業改善について指導助言をしています。

家族社会学からみる生きづらさと地域社会の課題

山下 美紀

Miki Yamashita

文学部／現代社会学科

教授／博士



研究業績データベース

YouTube公式動画

キーワード

家族社会学／家族関係学／ジェンダー／子どもの生きづらさ／家族

研究概要・実践活動

子どもや若年女性が直面する「生きづらさ」に焦点を当てています。特に、家族資本やキャリア形成、経済的不安など、well-beingに影響する要因を実証的に分析しています。このほか、1970年代以降の日本における新聞の投書記事を題材に、子どもが抱える課題・置かれている状況がどのように変化してきたのか、変化していないのかを探り、子どもの生きづらさの構造的特性を明らかにすることをライフワークとしています。



研究・社会活動実績

家族社会学とジェンダー研究を基盤に、若年女性や子どもの「生きづらさ」に関する調査を継続しています。具体的には、子どもシェルターやDV被害者支援活動にかかわりながら、社会的課題の解決に向けた実践を重視しています。

産学官連携の可能性

家族社会学・ジェンダー研究を活かし、地域課題や企業の人材育成に貢献します。婚姻・出産動向や若年層のキャリア形成に関する共同調査、ダイバーシティ推進研修、自治体との子ども・女性支援策の企画など、現場と研究を結ぶ協働が可能です。